



自然災害の頻度と経済規模から日本は世界で最も自然災害リスクが大きいと言われています。日本の保険会社は自然災害に備える商品を多く提供していますので、リスクを計量化し把握することが必要とされています。

自然災害の計量化のために用いられているのがモデルを使ったリスク分析です。

家財保険は自然災害の影響を受けない、と認識されてきましたが、ここ数年の豪雨、台風の影響を受けた事例がありました。また、適正なイベントリミットを設定する際、自然災害による集積リスクを考慮する必要があります。

「モデルを回す」と聞くことはありますが、そもそもモデルとは何か、どのような分析が可能なのかご説明いたします。